

輸送動向について(平成22年4月)

平成22年5月

1. 輸送概況

今月は、中旬に北東北地区において強風による輸送障害が発生し、月全体では高速貨32本が運休した。

荷動きについては、輸出産業等をはじめとした製造業の生産回復及びゴールデンウィーク前の需要強勢により、月全体を通して前年を大きく上回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物が前年を下回ったものの、自動車部品、化学薬品、化学工業品、家電・情報機器などが前年を上回り、全体では前年比106.6%となった。農産品・青果物は、米の出荷低迷が継続したほか、九州地区の野菜類が天候不順により出荷が低調に推移したため減送となった。一方、自動車部品、化学薬品、化学工業品は、昨年の生産調整の反動及び輸出産業の生産回復に伴い増送となった。また、家電・情報機器は、メーカーのモーダルシフトへの取組みの進展により増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を下回ったものの、石油が前年を大幅に上回り、全体では前年比110.0%となった。石油は、気温が低めに推移したことによる灯油の需要の増加などを受け増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,803	1,690	106.6%
車 扱	942	856	110.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	141	164	-23	86.0%
	化学工業品	175	153	22	114.4%
	化学薬品	136	115	21	118.3%
	食料工業品	298	296	2	100.7%
	紙・パルプ	265	253	12	104.7%
	他工業品	132	113	19	116.8%
	積合せ貨物	195	202	-7	96.5%
	自動車部品	65	41	24	158.5%
	家電・情報機器	38	29	9	131.0%
	エコ関連物資	27	27	0	100.0%
	その他	331	298	33	111.1%
	コンテナ計	1,803	1,690	112	106.6%
車 扱	石油	642	557	85	115.2%
	セメント・石灰石	109	114	-5	96.0%
	車 両	83	86	-3	96.1%
	その他	108	99	9	109.3%
	車 扱 計	942	856	86	110.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)